

# 社協だより サポート なよろ

Vol.9 / 平成26年9月

## Contents (目次)

- p1. 第29回ふれあい広場2014なよろ (表紙)
- p2. 第29回ふれあい広場2014なよろ
- p3. みんなのうたづくり  
(ふれあい広場なよろ30回記念事業)  
ここが魅力!町内会!
- p4. 名寄市共同募金委員会からのお知らせ
- p5. ボランティア・福祉団体等の紹介  
エコキャップ活動  
愛媛銀行からのお礼
- p6. 名寄市町内会ネットワーク研修会のご案内



「第29回ふれあい広場2014なよろ」にて (2014.7.6)

第21回福祉標語最優秀賞

参加して 笑顔広がる ボランティア

下多寄小学校6年 藤垣 通奈さん

発行 社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会

〒096-0011

北海道名寄市西1条南12丁目

名寄市総合福祉センター内

TEL: 01654-3-9862 / FAX: 01654-3-9949

ホームページ <http://www.nayoro-shakyo.jp/> / E-mail [info@nayoro-shakyo.jp](mailto:info@nayoro-shakyo.jp)

facebook

<http://www.facebook.com/nayoroshakyo>

【風速支所】

〒098-0507

名寄市風速町西町196-1

名寄市役所風速庁舎内

TEL: 01655-3-3777 / FAX: 01655-3-3999

名寄市社協ホームページ  
[PC&携帯でご覧いただけます]  
<http://www.nayoro-shakyo.jp>



# 第29回 ふれあい広場2014なよろ

第29回ふれあい広場2014なよろを7月6日(日)に名寄市総合福祉センターを会場に開催しました。

毎年7月の第1日曜日に開催しているふれあい広場は、障がいや年齢、性別等に関わらず、喜びや感動、悲しみを共有し共に暮らしていくノーマライゼーションの普及を目的として開催しており、今年も延べ3,500名の市民に来場いただきました。

今回初めて、日本ホスピタルクラウン協会のご協力で4名のクラウン(道化師)が会場内を練り歩き、子どもから高齢者まで多くの方との交流を楽しみ、また新たな出会いが広がる広場でした。

また例年行っているボランティアラリー(車いすや点字などの体験)やふれあいコンサート、ふれあいの店なども多くの来場者で賑わいました。

ふれあい広場に関わっていただいた皆さん、ありがとうございました。

また来年お会いしましょう。



## 陰で支えて 下さった皆さん

ボランティアの皆さんは開催1ヶ月前から毎日総合福祉センターに通い、合同演奏・合唱で使用するうちわ形の歌詞カードやボランティアラリーの参加賞作りをして下さいました。

また、名寄市老人クラブ連合会の会員約150名の方々には会場の環境整備を行っていただきました。

この他にも多くの方にご協力いただきふれあい広場を開催することができました。

皆さんのご協力ありがとうございました。

## 第21回福祉標語入選作品

福祉標語へのたくさんの応募ありがとうございました！(敬省略)

### 最優秀賞

参加して 笑顔広がる ボランティア  
下多寄小学校 6年 藤垣 遥 奈

### 優秀賞

ありがとう みんなをつなぐ 合言葉	名寄西小学校	6年	森 本 琴 真
ありがとう その一言で 笑顔咲く	名寄南小学校	5年	宗 方 彩輝映
優しさは みんなの心を つなぐんだ	智恵文小学校	6年	五十嵐 和
大丈夫? その一言が 思いやり	名寄中学校	1年	佐 藤 元 樹
差しのべて 未来を変える あなたの手	名寄高校	3年	井 上 未 久

### 佳 作

ささえあい ぐらしやすいまち そだてよう	豊西小学校	5年	齋 藤 友希乃
ボランティア できることから 始めよう	名寄小学校	5年	遊 佐 一 稀
あいさつは きみの未来の かけはしだ	名寄東小学校	6年	遊 三 浦 慶 悟
あいさつは 笑顔の花の 種なんだ	中名寄小学校	6年	菱 田 由希子
みんなでね ひとにやさしい まちづくり	東風連小学校	3年	寺 田 大 翔
こまっている人 すぐに助ける 思いやり	風連中央小学校	6年	佐々木 聖 哉
手をつなぎ ぬくもりわけあう 地域の輪	風連中学校	1年	波 谷 圭 辰
ふれあえば 心伝わる 笑顔の輪	名寄東中学校	2年	佐 藤 杏 美
あいさつを 笑顔でしよう 元気よく	智恵文中学校	2年	渡 部 凪 平
つなぐ手に 伝わる優しさ あたたかさ	名寄高校	3年	山 下 航

# 始まります！ふれあい広場なよろ 30回記念事業

## みんなの「うた」づくり

毎年多くの参加をいただき、市民の皆さんにも定着してきた「ふれあい広場なよろ」は来年7月5日（日）の開催で30回目を迎えます。

障がいや年齢、性別等に関わらず支え合って暮らしていくノーマライゼーションの普及を目的として開催しているふれあい広場をきっかけに、子どもから高齢者まで名寄に暮らす多くの人がこのまちを思い、誰にとっても暮らしやすいまちを皆でつくっていきけるよう30回の記念開催に向けて「みんなの『うた』づくり」を行うことになりました。

歌は多くの人々の心にずっと残っていくものです。

私達が暮らす名寄に、ずっと残っていく「宝物」を皆さんと一緒に作りましょう。

ふれあい広場なよろ30回記念事業「みんなの『うた』づくり」へのご参加ご協力をよろしくお願いたします。



### みんなの「うた」ができるまで

#### 「ワークショップ」

子どもから高齢者まで名寄の皆さんがまちを想う気持ちを複数回のワークショップを行い集めます。

#### 「作詞・作曲」

ワークショップで集まった「想い」を基に名寄に縁のある方が作詞・作曲をします。

#### 「完成」

たくさんの想いがつまった「みんなのうた」の完成です。

#### 「お披露目」

来年7月5日開催の「第30回 ふれあい広場なよろ」で市民の皆さんにお披露目します。

#### 「みんなの宝物」

社協の事業をはじめとした様々な場所で歌を流し、皆で歌い、名寄に暮らす私達の宝物にしていきます。

## シリーズ

## ここが魅力！町内会！

～私たちが暮らす町内会を紹介します～

Vol.9

### 大橋区町内会

黒田 英二 会長

#### 113年の歴史を大切に

大橋区町内会は今年で開拓113年を迎えます。元々、水田地帯が広がっていた大橋区は現在では高校や下水処理場、炭化センターなどの市の施設や流通団地があり多様な資源が広がっています。

現在は393世帯で「明るく豊かで住みよい地域」の実現に向け、日々活動を重ねています。

その中でも、毎年6月14日には大橋区開拓記念祭を行う他、7月に開催する大橋区ふれあい広場は子どもから高齢者まで150名以上の参加をいただく大きな行事になっています。



皆で元気にラジオ体操

#### 町内全体で見守り活動

町内会の高齢者を対象としたクリスマスケーキの配布や敬老会での食事会、パークゴルフ大会、ラジオ体操なども行っており、子どもから高齢者まで皆が地域の中で活動できる取り組みをしています。

また、福祉部では一人暮らしや高齢者夫婦世帯でも安心して暮らせるよう、班長が回覧を回すときに声かけをするなど、地域に暮らす方々の見守り活動も行っています。

#### 今後の展望

町内の区域が広範囲であり、高齢者などの要援護者に対する防災活動の取り組みの遅れや、高齢などにより町内会活動に参加できない方への見守りなどの課題が点在していますが、地域住民が共に支え合い安心して暮らせる町内会を目指して、子ども会活動から高齢・障がい者などに対する活動まで幅広い取り組みを展開し、今後もより良い町内会を目指していきます。



# 名寄市共同募金委員会からのお知らせ

## 新会長に就任しました

中村 雅光前会長代理の後を受け、平成26年度より会長に就任いたしました黒田 英二です。

名寄市での共同募金運動が市内を中心とした様々な福祉活動に役立てられ、地域福祉の向上に貢献することができるよう努力して参りますので、今後ともご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。



## 赤い羽根共同募金運動が始まります！

全国一斉募金期間：10月1日～12月31日

今年もみなさんのご協力をお願いします！



## 赤い羽根募金の使い道

- 高齢者や障がいのある方への福祉サービス
- ボランティアの育成や活動支援
- 町内会活動の支援
- 学校での福祉教育やボランティア活動
- 高齢者・障がい者団体への支援
- 行幸用テントの購入助成
- 施設の修理や機器購入
- 災害復興の支援

名寄市では社会福祉協議会他21の福祉関係団体に総額3,130,147円(平成26年度)の助成がされています。

お問い合わせ先

## 名寄市共同募金委員会

〒096-0011 名寄市西1条南12丁目  
名寄市総合福祉センター内  
TEL：01654-3-9862 FAX：01654-3-9949

じぶんの町を良くするしくみ。  
赤い羽根共同募金



# ボランティア・福祉団体等の紹介

## 社会福祉法人 道北センター福祉会

道北センター福祉会は、障がいや精神的な病（やまい）をお持ちの方が、人生の主人公として自分らしく生きて行けるような支援をめざして、以下のような活動を行っています。

### 地域活動支援センター いきぬき

障がいをお持ちの方やご家族からの相談の場、日中安心して過ごせる憩いの場・交流の場を提供しています。

### 障がい者相談支援センター そうだん屋

グループホーム入居、ホームヘルパーの派遣、仕事の訓練など、障がい福祉サービスを受けるためのサービスプランを作っています。

### 道北障害者就労・生活支援センターいきぬき

障がいをお持ちの方の就職の相談や、就労後の仕事上・生活上の相談をお受けしています。



### 宿泊型自立訓練緑が丘

一人暮らしやグループホーム入居、自宅に戻るためや、自宅らしい日常生活を送るための準備を行っています。

### グループホーム めくむ・ひかる・あゆむ

障がいをお持ちの方が安心して暮らせる居住の場を提供しています。

### 道北ワークセンター

名寄公園の管理や売店の経営、はちみつの加工販売、便利屋さんや除雪の請負などを通して、障がいをお持ちの方の働く喜びや社会参加、経済的な自立を目指しています。

#### 【問い合わせ】

社会福祉法人 道北センター福祉会  
 地域活動支援センター いきぬき  
 〒096-0011  
 名寄市西1条南8丁目  
 TEL:01654-9-4365(尾湯・市川)

## ご協力ください！ エコキャップ活動

市民の皆さんからお寄せいただいたエコキャップ（ペットボトルのふた）を活用して、世界の貧しい子ども達のワクチンや図書書の提供などの生活に役立てる活動を行っています。

名寄社協に寄せられたエコキャップはボランティアの皆さんの手で整理され、イオン名寄ショッピングセンターを通じてリサイクル業者へ売却され、その対価が活動に役立てられます。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします！

### ボランティアとしてご協力いただける皆さんへ

キャップ整理のボランティア活動を行っています。どなたでも参加いただけます。お気軽にお越しください。

- ◆活動日 毎月第1火曜日10時～12時
  - ◆場所 名寄市総合福祉センター
  - ◆事前申込 不要
  - ◆活動内容 キャップの最終整理(仕分けなど)
- ※特に必要な持ち物はありません。

### エコキャップをお寄せいただける皆さんへ

キャップは必ず「水洗いをして」直接名寄市社会福祉協議会(名寄市総合福祉センター)にお持ち下さい。下記のようなキャップは回収できませんので、ご協力お願いします。

- ◆回収不能キャップ: 醤油やお酒等のキャップ/洗われていないもの/シール等が貼ってあるもの
- ※一般的なペットボトル飲料のキャップを回収します。

## 愛情銀行への預託ありがとうございました！

愛情銀行は、昭和44年に市民の皆さんの愛情を善意として積み立て、社会福祉事業に活用することを目的に開始されました。現在は、会葬礼状としてご利用いただいている「福祉はがき」をはじめ、チャリティ映画会の益金、金銭や物品寄付を、福祉団体の福祉器具購入助成など市内の地域福祉・在宅福祉事業に有効に活用させていただいています。



#### ◇愛情銀行寄託[福祉はがき]

(平成26年6月1日～平成26年7月31日)

月	寄付金額	件数	月	寄付金額	件数		寄付金額	件数
6	386,620円	17	7	413,916円	13	合計	800,536円	30

#### ◇愛情銀行寄託[一般寄付]

(平成26年6月1日～平成26年7月31日)

月	寄付金額	件数	月	寄付金額	件数		寄付金額	件数
6	0円	0	7	2,000円	1	合計	2,000円	1

平成26年度

# 名寄市町内会ネットワーク研修会

参加  
無料

## つながり、支え合う地域づくり

### ～東日本大震災の経験から～

講師 岩手県宮古市社会福祉協議会 小林 さつき 氏

日時：9月26日(金)13:30～16:00

会場：名寄市総合福祉センター

(名寄市西1条南12丁目)

写真提供：NPO 法人 FacilitatorFellows

一緒に考えましょう

「つながる」大切さ

「支え合う」大切さ

13:30～ 実践報告

「みんなで見守る町内会」

19区町内会

14:20～ 講演

「つながり、支え合う地域づくり

～東日本大震災の経験から～

小林 さつき 氏

岩手県宮古市社会福祉協議会  
相談員・ボランティアコーディネーター

岩手県宮古市では東日本大震災によって甚大な被害を受けながらも、震災前のつながり、震災後の新たなつながりをつくりながら、地域全体が支え合い、復興に向けて様々な活動を展開しています。

震災発生時やその前後の様子も踏まえながら、宮古市での実践から私達の地域活動へのヒントを学びます。

小林 さつき 氏

岩手県立大学社会福祉学部卒業。  
大学卒業後、岩手県宮古市社会福祉協議会  
で勤務。地域福祉活動やボランティア事業  
を担当する。

東日本大震災発生後は宮古市社会福祉協議会  
が設置した宮古市災害ボランティアセンター  
担当となり、復旧復興へ向けたボランティア  
活動の普及にあたり、被災された方々の生活  
復興に向けて、日本全国から駆けつけたボラ  
ンティアの調整を行った。

現在も宮古市の復興、更には、より暮らし  
やすい宮古市をつかっていくために地元住民  
や全国のボランティアと共に地域福祉活動を  
展開している。

主催：社会福祉法人  
名寄市社会福祉協議会

共催：名寄市町内会連合会  
名寄市民生委員児童委員連絡協議会

9月17日(水)までに電話・メール等にて  
名寄市社会福祉協議会にお申込み下さい。

印刷の事なら何でもご相談下さい。  
Mac・Winデータ対応、カラープリント、1枚からでもOK

株式会社 北方印刷所

代表取締役社長 横山 秀明

〒096-0010 名寄市大通南5丁目  
TEL.01854-2-2337 FAX.2-2115  
http://www.hoppoh.jp

◇編集後記◇

今年8月5日に発生した大雨災害では、名寄でも至る所に被害を及ぼしました。災害の少ないと言われて  
いるこの地域ですら、いつ大規模な災害が発生するかも  
分かりません。

東日本大震災の被災から復興に向けて行われている  
様々な活動から、今私達にできることを町内会ネット  
ワーク研修会をとおして学びませんか。